

第37回(平成30年度)仙台市中学校新人大会 卓球競技 要項

1 会 場

泉・宮城野区…泉総合運動場体育館(1日目)

太白・若林区…泉総合運動場体育館(2日目)

青 葉 区…宮城広瀬体育館(1日目)

2 日 程

	泉・宮城野区	太白・若林区	青 葉 区
平成30年 10月6日(土)	団体戦 決勝まで 個人戦 決勝まで		団体戦 決勝まで 個人戦 決勝まで
平成30年 10月7日(日)		団体戦 決勝まで 個人戦 決勝まで	

3 大会規則

(1) 競技規則 現行日本卓球ルールによる(平成30年6月1日改訂)

(2) 競技方法

①男女団体戦…トーナメント戦。

- ・学校単一のチームであり、同一校の監督1名とコーチ1名、選手6～8名で編成する。監督は必ず当該校の教職員であること。コーチは、ルールにのっとり、校長が認めた者であればよい。

- ・4単1複の5試合で行い、3点先取法による。

ただし、単複に重複して出場することはできない。

- ・当日、6名そろわなかった場合について

申込の時点で6名そろっている場合は、試合をさせる。オープン参加の形になるか、試合として成立していると認めるかは、人数がそろわなかった状況によるものとする。

②男女個人戦…トーナメント戦とする。

(3) 登録人数

①男女団体戦…各校1チームずつ(6～8名)。

②男女個人戦…各校4名まで。但し、平成30年度全日本カデット宮城県予選シングルス
の部全国大会に出場する者は、県新人大会個人戦無条件出場となるので、
該当生徒が今大会に参加する場合は、その学校は、本人+4名までとする。

(4) 使用球 日本卓球協会公認球(ニッタク)

(5) その他

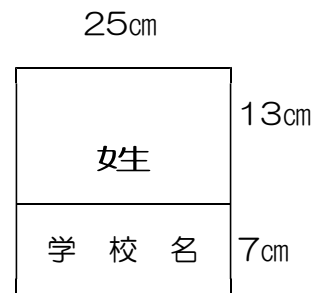
①試合は、1マッチ5ゲームとする。

②選手(団体戦)・監督・コーチの変更は、当日8時30分までに、所定の用紙で行うこと。

また、個人戦の選手変更は、病気または怪我による場合のみ認める。但し、大会3日前までに、所定の用紙で委員長に届け出ること。口頭での変更は認めない。

4 特に留意すべき競技上の注意点

- (1) 選手は必ず学校名、選手名入りのゼッケンを着用するものとする（右の例を参照）。なお、ゼッケンを着用していない者は失格とする（審判は試合前にゼッケンとラケットを確認すること）。
- (2) タイムアウト制は採用しない。
- (3) ラバーの張り替えは、指定された場所で行うこと。
- (4) 練習時間終了後と試合開始の間にベンチに戻ることはできない。
- (5) ベンチコーチのアドバイスは、各ゲーム間それぞれ1分以内とする。
- (6) サービスについて（特に留意すべき点）
 - ① サービスの時、ボールはフリーハンドの手のひらの上で静止させること。また、ボールは手のひらから16センチ以上投げ上げること。
 - ② ボールを上げてから、打球まで、相手選手に常にボールが見えるようにすること（疑わしい動作もしてはならない）。
- (7) ラケットの片面が、木質である場合、ラバー面の色と違う、赤または黒の色で着色されていること（着色シートやマジック類）
- (8) ラバーをラケットに接着する際は、揮発性の有機溶剤を含んでいないものとしてJTТАAが公認した接着剤（液体、固体、シートなど）のみを用いて行うものとする。
- (9) ルールの適用等に疑問がある場合、団体戦の場合は監督が、個人戦の場合は選手本人が主審に申し出ること。判断に迷う場合は、主審が、審判長に申し出ること。



5 審判

- (1) 団体戦は相互審判とする。
- (2) 個人戦の最初の試合は、相互審判とするので、審判員を連れてコートに入ること。その後の試合は、敗者審判とする。
※審判は、登録選手もしくは他の部員（審判ができる者）が行うこと。

6 参加料

団体1チームにつき1,000円 個人戦のみ参加者は、1人100円
大会当日、受付で徴収します。

7 その他

- (1) ゴミは各自持ち帰りとする。
- (2) 会場での「トイレ・壁・カーテンの破損」「貴重品・現金の盗難」「土足」「学校間のトラブル」が発生しないよう、会場使用上の注意を参照の上、事前の生徒指導及び大会期間中の生徒掌握を各学校で徹底する。
- (3) 団体戦・個人戦で、県新人大会に進出した学校・選手には、強化練習会の案内を配付する。
- (4) 今大会に関する情報は、仙台市中体連卓球専門部Webサイトに随時掲載する。参加校は、頻りにサイトを確認し、必要な情報を把握した上で参加すること。
「仙台市中体連卓球専門部」 で 検索